



# ルーマニア柔道代表がやってきた

東京2020オリンピックに向け、ルーマニア柔道代表チームの選手や監督、コーチ合わせて24人が11月20日から12月1日まで、福津市と古賀市で事前キャンプを行いました。ルーマニア柔道チームの監督として指揮をとる大石公平監督を始め、意外なところで日本とつながりがあるルーマニアのことを紹介します。

## キャンプ地の決め手は環境、設備、地域の人

市は、東京2020オリンピック・パラリンピックに出場する国、地域の選手団による事前キャンプ地誘致を積極的に推進。より効果的に受け入れるために、古賀市と共同で誘致に取り組み、ルーマニア柔道代表チームの事前キャンプ地に決定しました。福津と古賀の環境や設備、何より、地域の人の優しさがキャンプ地決定の決め手になったそうです。

11月20日から12月1日まで合宿に来た選手たちは、海岸でのランニングや、福岡武道館で汗を流しました。また、11月25日に開催された海岸松林ウオークに参加するなど、福



▲11月6日のオリンピック推進協議会設立総会と11月28日のオリンピック競技大会事前キャンプに関する基本合意書調印式  
福岡武道館で柔道の稽古をするルーマニアの選手たち

### 知っとう? ルーマニア...その1! どんどころ!?

東ヨーロッパに位置し、面積は日本の本州とほぼ同じ約23.8万km<sup>2</sup>、人口はおよそ2,000万人。スポーツでは柔道はもちろん、サッカーや体操の人気があります。北京オリンピック柔道女子48Kg級でシドニー、アテネに続くオリンピック3連覇を狙った谷亮子選手を準決勝で破ったのはルーマニアのアリナ・ドゥミトル選手でした。



### 知っとう? ルーマニア...その2! けん玉がうまい!?

海岸松林ウオークで4kmを歩き終えたルーマニア代表選手が手に取ったのは「子どもと大人の冒険遊び場わくわくプレーパーク」に置かれたけん玉。日本のおもちゃで遊んでみようと思ったのかと思いきや、大皿とけん先の間に玉を乗せるなど、繰り出されるテクニックの数々に一緒に遊んでいた一同仰天。なんとルーマニアでは、けん玉は人気のある遊びとこのことでルーマニアのおもちゃ屋には必ず置いてあるそうです。



### 知っとう? ルーマニア...その3! 監督が日本人!?

オリンピックに向けた選手強化のためにルーマニアから招かれた大石公平さん。愛知県の大成高校柔道部女子監督を退職し、オリンピックまでの間、柔道代表チームの監督として指揮をとります。「福岡は柔道が盛んで、高校柔道の三大会『金鷲旗』が開催される場所。練習できる環境が整っている上、ルーマニアにはない海がある環境がいい。オリンピックを機に、福岡とルーマニアの良い関係を築けたら」と話していました。



# 謹賀新年

新年あけましておめでとう  
ございます。皆様におかれましては、すがすがしく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
さて、右の記事のとおり、古賀市と共にルーマニア柔道代表チームと東京2020オリンピックの事前合宿地の協定を締結しました。これを機にルーマニアの皆さんとの交流を深め、特に子どもたちとふれあう機会を設けることで、子どもたちが夢を持ち、のびのびと育つきっかけにしたいと考えています。  
今年も平成から新しい時代の幕開けの年となります。時代が変わっても、福津の良さを未来へとつなぎ、よりよい

まちにしていきたいという気持ちには変わりません。  
全国的な少子高齢化、人口減少社会にあって、市は人口が増えている。人口を増やすことがすべてだとは考えていませんが「元気なまち」として、多方面から注目を浴びています。この機を逃すことなく、まちの魅力を磨き、情報発信を強化、充実していくことで、福津の認知度を今以上に高めていきたいと考えています。  
その一環として、昨年からは始めた取り組みの一つが、地域商社「福津いいざい」の設立です。福津には、新鮮でおいしい食材があります。その一方で農水産業の担い手不足

という課題もあります。  
そこで農水産物を中心とした地域資源を活用し、経済の活性化とともに、人と人が結びついていくことを大きな目標としています。  
まずは、学校給食をはじめ、福津の食が子どもたちや市民の皆さんにもっと行きわたる仕組みを作ります。市場のニーズを的確につかみ、適時にお届けすることで、商品の信頼性や安心感を高めます。  
さらには、市外へと販路を拡大し、生産者の収益の向上、安心や生きがいにつなげたいと考えています。より多くの人に「福津の幸」をお届けすることが地域商社の最も重要な役割です。

結びとなりますが、今年もこれまでと同様に、市民の皆さんとの「対話」を重視した市政運営を進めていきます。より多くの皆さんとの対話を通じて、さまざまな意見や情報を市政に反映していきたいと思っております。  
「将来への持続可能なまちづくり」という大きな目標に向かって、職員一同、一丸となって努力していきますので、今後とも皆様のご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

▲大峰山から望む日の出

平成三十一年元旦  
福津市長

原崎智仁